



あなたと議会を結ぶ

# 議会だより

●発行：鹿児島県知名町議会  
 ●編集：議会広報委員会  
 ●発行日：平成29年7月25日  
 ●〒891-9295  
 鹿児島県大島郡知名町知名307  
 TEL 0997-93-3119



## 幼保一元化・子育て支援充実!!

平成23年度から整備が進められていた、認定こども園「きらきら」「すまいる」の両施設の整備により、就学前の子供達の教育及び保育が一体的に提供され本町子育て支援の確立が図られる。

### 主な内容

- ◆ 第2回定例会のあらまし ..... 2
- ◆ 一般質問 ..... 3～10
- ◆ 第2回定例会で審議された案件 ..... 11
- ◆ 所管事務調査報告 ..... 12～13
- ◆ 議会の動き／編集後記 ..... 14



ちなぼー  
 知名町マスコットキャラクター

## 平成29年 第2回(6月)定例会

### 第2回定例会のあらまし

知名町議会第2回定例会は、6月13日から15日までの日程で開かれました。

今定例会では、町政全般に対する一般質問に8名の議員が登壇し、町政発展のための活発な議論が交わされました。

報告案件では、繰越明許費繰越計算書(一般会計)、知名町水道事業経営戦略について報告がありました。

議案は、専決処分事項の承認案件では地方税法の一部を改正する法律の改正に伴う知名町税条例の一部改正など条例の一部改正2件、平成28年度一般会計及び特別会計の補正予算9件を承認。単独議案では、知名町職員定数条例の一部を改正する条例、知名町行政手続等における情報通信技術の利用に関する条例の制定、などの議案を原案可決、物品売買契約の締結1件を可決、知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求める案件に同意しました。また、平成29年度一般会計補正予算1件を原案可決しました。

## 一般質問

### 8名の議員が町政を問う

一般質問は、行財政全般にわたる政策論議の場であり、より良い町政を目指して町政の各方面にわたって質問が行われました。3ページから掲載の内容は、主な項目についての質問と答弁の要旨であり、文責は質問者にあります。(質問順に掲載)

#### ○ 福井源乃介 議員

1. 次期町長選挙への出馬意思について
2. 知名漁港の製水施設の更新について
3. 町道の知名新城線の改良について
4. 子育て支援対策について

#### ○ 今井 吉男 議員

1. 役場新庁舎建設について
2. 観光振興による町の活性化について
3. 国営地下ダムの完成(平成33年度予定)を見据えた農業振興について

#### ○ 大藏 哲治 議員

1. えらぶゆりの島空港待合所改修について
2. フローラルパーク再整備について
3. シルバー人材センターについて
4. 新庁舎計画について
5. 町道知名西大山線の改良工事について

#### ○ 奥山 直武 議員

1. 学校及び認定子ども園関連について
2. 福祉関連について
3. 新規作物の導入について

#### ○ 外山 利章 議員

1. 子育て支援課設置について
2. 認定子ども園の運営状況について
3. 健康、教育、スポーツ振興について
4. 子育て環境の充実について

#### ○ 中野 賢一 議員

1. 老朽化の激しい知名町立給食センター建て替えについて
2. 知名町立武道館改修整備について
3. 町営住宅(若者定住住宅含む)・教員住宅・空き家について

#### ○ 根釜昭一郎 議員

1. 奄美群島国立公園指定について

#### ○ 西 文男 議員

1. 障がい者支援について
2. 南栄糖業(株)について
3. 国営地下ダムについて



福井源乃介議員

## 上城小学校から新城間の改良・側溝整備は

町長／学校教育課とも連携し、対応策を考える



町道知名新城線

**問** 町道知名新城線は、自衛隊基地から上城小学校間については、路面のデコボコや沈下等が多い状態にあるため、昨年から現況道路の路盤からの舗装打ち替え工事を実施している。指摘の区間については、中間あたりの地権者から、圃場の脇を使って排水処理を行っていいの脇に側溝の布設を実施しています。ただ、上城小学校敷地内の雨水が正門からあふれ



製水施設

**答** 町長Ⅱやる気・気力・体力は充分である。町民や関係機関のご支援で身に付けた経験と実績を次のステージに挑むことの可能性を視野に入れつつ準備する方向で検討する。進退について明言せず。

**問** 漁業者や町民の多くが不便に感じていることは、大量の水を町内で格安で調達できないことである。町民の不便を解消するのが行政の責務であり、早急な対応に努めるべきではないか。

**答** 町長Ⅱ知名漁港の製水施設は、「新沿岸漁業構造改善事業」により平成4年に設置して25年が経過。度々修繕を重ねてきたが、これ以上の修繕は厳しいと考えている。沖永良部島漁協から新設の要望があれば、国の事業等も活用し新たな製水機を導入できないか、検討する。



保育料の無料化を

**問** 保育料の無料化を、県内3番目の自治体として手を挙げると考えはないか。国においても高等教育費（大学授業料等）や幼児教育費の無償化に向けた議論が行われており、その財源として教育国債の発行や子ども保険の創設も検討されている。国の動きを見ながら検討を進めるべきではないか。

**答** 町長Ⅱ本町の利用料は、国の徴収基準額を設定し、独自の徴収基準額より低めに設定しており、同一世帯の利用者負担額を大幅に軽減している。国や県の子育て支援策の動向、財源の創設等の情報収集を行い子育て世帯の経済的負担の軽減に努めていく。

## 庁舎建設で補助事業の活用は

### 町長／市町村役場機能緊急保全事業を活用



今井吉男議員



庁舎

**問** 新庁舎建設に、次の二通りの対象事業があるが、本町は、どの事業を選択するのかが。

①市町村役場機能緊急保全事業（新規）。地方債の充当率90%、交付税措置率50%。  
②災害に強い町づくりのための事業。地方債の充当率100%、交付税措置として、元利償還金について、その70%を基準財政需要額に算入、事業年度は平成29年度から平成32年度までの4年間。

**答** 町長 ①で示された事業は昭和56年度の新耐震基準導入前に建設され、耐震化が未実施の市町村の本庁舎の建て替

え等を実施できる事業内容となっており、本町の庁舎建て替えについても対象となるが②で示された事業は「緊急防災・減災事業」にあたり、当事業における都道府県が作成した、津波浸水想定区域内に所在する庁舎が対象となっており、本町の現庁舎の所在地については、鹿児島県が定める「津波浸水想定」の（平成26年4月）の区域外となっており、本町は、②の「緊急防災・減災事業」における地方債については対象外となり、本町の活用可能な事業は、①の事業により新庁舎建設を進めていきたい。なお、今議会終了後に、（仮称）「役場新庁舎建設基本構想検討委員会」を立ち上げる。

**問** 観光振興による町の活性化における観光客等の受け入れ体制と観光資源の整備計画は。

**答** 町長 地方創生加速化交付金「DMO化事業」において、おきのえらぶ島観光協会を主体に、島の資源を活用したプログラムを実践し、持続可能なものとなるよう行政としてサポートしていく。

**問** フローラルホテルは、開設から20年が経過、ほぼ満室で推移、今後の観光客増強に対応する増築計画は。

**答** 町長 ①ホテルの老朽化に伴う修繕計画はあるものの、現時点において増築計画は予定していないが、今後の交流人口の増加を想定し、財源の確保や体験型観光等の受け入れ態勢等、検討を行う。



フローラルホテル・休養村施設

**問** 国営地下ダムの完成（平成33年度予定）を見据え、畑かんの普及による農業者所得向上と農畜産物総生産向上計画は。

**答** 町長 さとうきびを基幹作物に、花き、輸送野菜、葉たばこ等と肉用牛を組み

合わせた複合経営の推進を基本とし、既存品目の安定的な水利用による生産性及び品質の向上、収益性の高い施設利用型農業の推進、新規作物の導入を図る。

**問** 沖永良部土地改良区の管理事務所の設置場所と設置年度は。

**答** 町長 国営地下ダム事業の中央管理所は、昨年度、実施設計業務が完了、平成30年度の工事着工を目指している。

**問** 水利用料金の統一状況は。

**答** 町長 現在、国、県、両町及び土地改良区で構成されている沖永良部土地改良区運営基盤強化推進検討会において協議を重ね、国営地下ダム事業の完成までには、受益者説明会等を開催し、沖永良部土地改良区総代会での承認を目指す。



地下ダム利用による畑地かんがい



大蔵哲治議員

## フローラルパークの再整備を

### 町長／中期的な再整備を進める

**問** 沖永良部島の一部地域が奄美群島国立公園に含まれ、今後観光客の流入増加が見込まれる中、空の玄関であるえら



フローラルパーク西側の廃パイプハウス

**問** フローラルパーク西側の貸農園、廃パイプハウスを整理し、グラウンド部分を拡張する等の再整備はできないか。

**答** 町長 Ⅱ フローラルパーク西側の貸農園については、農業者以外の者が野菜や花等を栽培して、自然に対する理解を深めることとして運用してまいりましたが、近年は利用者「ゼロ」の状況が続いており、運用の在り方を指定管理先であるシルバー人材センターとも協議し、国県の補助事業導入も視野に入れないが、中期的な整備を進めたい。

**答** 町長 Ⅱ 公益社団法人知名町シルバー人材センターの平成28年度の事業実績は表1の通りで、受注件数、請負金額ともに減少傾向にあり、原因としては若年新規会員の

**問** シルバー人材センターの運営実績は。

まで民間企業となっており、増改築等については、運営主体である空港ビルの意向や、財政状況を加味しつつ関係者等と支援の在り方について協議を進めて行く。

**答** 町長 Ⅱ えらぶゆりの島空港にふゆりの島空港待合所は手狭間が否めず、現況増築で対処されているが、奄振や国の事業を導入し、設備の充実を図る改修はできないか。

**答** 町長 Ⅱ えらぶゆりの島空港については平成24年度に沖永良部空港ビル機能円滑化に冲永として待合所を増設、平成28年度には沖永良部空港ビル環境整備事業として、浄化槽の改修・ジェットタオルや地域情報提供モニターを設置する等の支援にあたってきました。が、空港も昭和44年に開港して、平成31年には50年目を迎え、かつ観光交流人口の入口として重要なものだと認識していますが、事業主体はあくまで民間企業となっており、増改築等については、運営主体である空港ビルの意向や、財政状況を加味しつつ関係者等と支援の在り方について協議を進めて行く。

ふゆりの島空港待合所は手狭間が否めず、現況増築で対処されているが、奄振や国の事業を導入し、設備の充実を図る改修はできないか。

**シルバー人材センター 会員募集中!**

高齢者向けサービス、地域貢献活動、生活支援サービス

〒93-3232 福井県福井市西町1-1-1 福井県シルバー人材センター

シルバー人材センター会員募集

平成28年度事業実績	
○ 請負等受託事業 契約金額…	3,132,000円
・ 受託件数…	105件
○ 労働者派遣事業 契約金額…	8,513,000円
・ 受託件数…	138件
○ 会員数…	164名
・ 就業日数 0日…	43名
・ 就業日数 60日以上…	31名

表1 シルバー人材センターの事業実績

**問** 町道知名西大山線の補修を要望しているがどうなっているのか。また、畑と道路の段差が大きい危険箇所があり安全を確保する改良工事はできないのか。

**答** 町長 Ⅱ 要望の道路補修は6月初めに完了しております。改良工事については、不特定多数の利用者、交通量の関係から厳しい状況だと認識しており、今後も適切な維持管理に努め、段差の大きい箇所のガードレールについては、必要箇所を検討しながら対応す

る組織として事業継続できよう町としても新規会員の加入促進と新たな就業の場の提供に連携して取り組む。



炎天下の中作業するシルバー会員

加入が少なく会員平均年齢の高年齢化が考えられ、高齢者の生きがいを得るための就業と地域社会の活性化に貢献で

## 認定こども園の不審者対策は

### 町長／不審者対応マニュアルに沿って訓練を実施している



奥山直武議員

**問** 認定こども園の不審者侵入対策及び訓練の実施は

**答** 町長は不審者への緊急対応マニュアルでは、退去を求めて、退去を拒否した場合は、非常通報装置で警察署に緊急通報し、知名町役場に連絡して、園児の安全確保（人数把握）を行っており、各種訓練等は計画に沿って実施をしている。



不審者対応訓練

**問** 特別支援学級の生徒数に対して担任教師の人数は不足していないのか。

**答** 教育長は特別支援学級の県の学級編成基準は、1学級8人であり、いずれの学級も、基準人数の半分以下で、人数的には恵まれた環境にあると思います。

**問** 下平川小学校の体育館横の崩れた石垣の修復は。

**答** 教育長は6月6日に改修工事に着工し現在、改修工事が完成済みです。



下平川小学校石垣改修

**問** 民生委員制度は、本年5月12日で100周年を迎えたが、本町での催し等はあるのか。

**答** 町長は本町での記念行事の計画はありませんが、11月9日に開催される「民生委員制度創設100周年鹿兒島県民生委員児童委員大会」が開催されますので、民生委員・児童委員全員が参加できるように

当初予算に旅費を計上している。

**問** 点字教室及び手話教室を公民館講座等で開催できないか。

**答** 町長は障がい者福祉協会や沖永良部視覚障がい者福祉協会、社会福祉協議会等関係者間で現状把握や協議を行い、点字奉仕員・手話奉仕員の養成及び講師の確保も含めて講座開設の可能性を検討した上で、視覚・聴覚障がい者の福祉に寄与できる講習会を計画したい。

**問** 視覚障がい者の日常生活の便宜を図るために、用具の給付、貸与を行う日常生活用具事業を何名の方々が利用しているのか。

**答** 町長は「知名町重度障害者等日常生活用具給付等事業実施要綱」に基づく視覚障がい者への日常生活用具の給付実績は、平成28年度盲人用時計が3件で、平成29年度は視覚障がい者用拡大読書器の給付相談があり機器の手配を行っている。

**問** 視覚障がい者の利便向上のため、役場各課、点字名刺を作成できないか。

**答** 町長は点字名刺は、視覚障がい者との意思疎通時の有効な手段の一つだと認識であり、まずは関係部署からの対応を検討する。

**問** 新規作物導入としてモリンガ葉等の導入予定はないか。

**答** 町長はシマヤに限らず、新規作物の導入や地域資源を活かした特産品開発、6次産業化の推進は、今後の本町農業を振興する重要な課題であり、本年3月に「知名町6次産業化推進計画」を策定、モリンガなど、その他の品目について、意欲的に取り組む農家や加工業者があれば、それぞれの段階において、関係機関と連携し様々な支援を行う。



モリンガ



外山利章 議員

## 子育て支援策に子育て世代の声を反映させるため意見交換会等の開催

### 教育長／保護者会役員との意見交換会開催の方向で検討する

**問** 支援策を計画、チェックする子ども子育て支援会議委員の一部を公募制にしては。

**答** 子育て支援課長 住民ニーズ調査を実施し、子育て世代の声を確認したい。委員についても、今後検討していく。

**問** 町内に待機児童はゼロとのことだが、4月の時点が入園できず、7月からの入園となった児童がいると伺っている。事実関係は。

**答** 子育て支援課長 希望の施設はクラス、定員数等により入所が叶わず、他の利用可能な施設を紹介したが、入所に至らなかった。

**問** 兄弟姉妹がいた場合、別々の園では通園が困難であり、今回の件はいわゆる隠れ待機児童状態になったと思われるが、申し込み方法の改善など今後の対応は。

**答** 子育て支援課長 できるだけ同じ園に入所できるように努力していく。また、入園手続き等については保護者からの要望もあることから来年度、改善していきたい。

**問** 認定子ども園、保育園共に、保育教諭の人員確保に苦慮しているが、有資格者が登録



虫歯治療

する子育て人材バンク（仮）のような制度をつくり、人員の確保に努めては。

**答** 子育て支援課長 広報等で募集をしているが人員確保に至らず保育教諭以外の職員も含め、人員確保のシステム作りが必要だと考える。

**問** またその情報を町内すべての子育て施設で共有し、子育て環境全体の充実に努めては。

**答** 子育て支援課長 現在は行われていないが、今後情報共有する体制づくりにも努めていく。

**問** 町内児童は県内でも高い虫歯率だが治療が進んでおらず、特に歯科医のいない地域

の児童にその傾向がある。子供の健康に地理的不利性があつてはならないがその対策は。

**答** 教育長 地理的条件で治療率に差が出るのであれば改善を図らなければならないが、保護者・学校の意識付けによっても治療率を上げていきたい。

**問** 団員数の減少で、スポーツ少年団の運営は厳しくなっているが、用具等の備品購入に対する助成事業はないか。

**答** 企画振興課長 ニッセイ財団の「児童・少年の健全育成助成事業」において、30万～60万の助成額で活動に必要な物品の購入が可能なので、スポーツ少年団の指導者、保護者に周知したい。

**問** 歯科治療への利用、スポーツ少年団への練習参加、町立図書館の利用など各種参加機会の創出と公共交通の活性化を目的に、児童を対象にしたバス一律運賃助成を導入しては。

**答** 教育長 バス利用によりどの程度参加機会の向上が見られるか検討の必要があるが、財政面、利用人数面からも検討する。

**問** 町民の憩いの場であるフールパークの遊具が老朽化が、再整備の計画は。

**答** 町長 遊具については本年度、県の地域振興事業を活用し、整備を行う。今後は住民に愛され、世代間の交流が促進する公園を目指していく。

**問** 地域の世代間交流と子育て環境充実のため、各字の整備および遊具の導入はできないか。

**答** 町長 広場整備は字の負担合意が得られれば事業趣旨に則った事業導入を検討し、遊具については事業メニューの中で導入ができれば検討する。



健康遊具整備事業で遊具導入

# 老朽化の激しい知名町立給食センターの建て替えについて

教育長／本年度基本設計、実施設計を行い、平成30年度着工を目指す



中野賢一議員

**問** 老朽化の激しい知名町立給食センターの建て替えについて。  
①建て替えの進捗状況および建て替え時期について。

**答** 教育長 給食センターは、築45年が経過し、老朽化しており、児童・生徒への、安心・安全な給食提供のため、施設の整備は必要不可欠との判断から、給食センターの建て替えに向け、本年度から取り組んでいます。現在の建て替えの進捗状況については、基本設計・実施設計を予算に計上し、本年度中に執行する予定であり、建て替え時期については、学校給食の提供に影響を及ぼさないことを念頭に置き、本年度基本設計・実施設計を行い、平成30年度着工を目指し、設計内容の協議、調整を行う。

**問** ②建設地（建て替え場所）について。

**答** 教育長 学校給食施設については、施設整備のための基本となる条件となる給食数・献立形態・主食内容・厨房機器の作業環境・厨房機器・備品類などを定めることが必要となります。また、学校給食衛生管理基準に基づいた諸室の検収室・保管室・調理室・

配膳室・洗浄室などの整備基準があり、それを参考にしながら建物面積や建設コストなど様々な視点から検討し、学校給食が円滑に給食可能な施設整備を行います。現在、このような事項を検討している段階であり、建設用地は、基本的な施設内容、規模等が決まったのちに、条件を満たすところに決めたい。



給食センター南側



給食センター

**問** 知名町立武道館改修整備について。

**答** 教育長 平成16年9月の台風18号により、壊滅的な被害を受けた武道館については、被災後、議会のなかでも数回一般質問があり、武道館検討委員会を開催し、有効活用を模索してきましたが、これといった活用策を見いだせないまま、現在に至っております。被災後13年が経過し、現在も雨ざらし状態であるため、建物の腐食が進み、電気・水道・破損箇所の補修等使用できる状態にする場合、数千円かかることが予想され、費用対効果の面でその足を踏んでいる現状です。また、同じ規模の台風が発生し、再度被害を受けないという検証がなされておらず、不安材料を抱えたままでの整備には躊躇しております。財政的にも役場庁舎建設・給食センター建て替え等多額の経費を必要とする、優先すべき大型工事も予定されており、財政状況を勘案しながら民間活用（貸出）も視野に入れて、さらに、再利用について検討を重ねていく必要があり、現段階では改修工事の計画は白紙の状態です。



武道館外観



武道館内部



## 奄美群島国立公園指定について



根釜昭一郎議員

### 町長／市町村が公園事業者として国から認可を受けることにより、公園整備を実施することが可能



奄美群島国立公園

**問** 今後どのような事業を計画しているのか。

**答** 町長 国立公園区域の事業計画については現段階で主だった計画はないが、先日開催された奄美群島の世界自然遺産登録推進協議会幹事会において、環境省より幹事会がありましてので報告させていただきま

国立公園内の事業として市町村が公園事業者として国から認可を受けることにより、補助金を活用し、公園整備を実施することが可能となります。補助金は2分の1です。今年度、秋に開催される中央環境審議会に諮問するために、これから作業にとりかかろうというところです。

景観の維持活動についてはグリーンワーク事業というものが、海岸清掃等に活用できる事業となっております。



田皆岬から沖泊を望む

**問** 環境省が直接地元の人材格を持つた団体と契約し事業を執行することになっております。なお、今年度沖永良部島で執行できる予算が計上された旨の報告を受けています。

**答** 町長 田皆岬展望所付休憩所は、第五次知名町総合振興計画に計画されていますが、現在、具体的な計画はなく田皆岬周辺が今年3月7日に国立公園に指定され、また、田皆岬周辺が田皆岬・沖泊コースとして奄美トレイルコースとなつていきますので、国や県とも協議し、トレイルコー



奄美トレイルコース (沖永良部島エリア)

**問** スの整備とあわせながら、展望所付休憩所にこだわらず、景観にも配慮した施設ができればと思います。

**答** 町長 昨年度、地方創生加速化交付金「DMO化事業」にて、おきのえらぶ島観光協会を主体に、島の資源を活用した体験型プログラム開発に取り組み、着地型観光の創出を目指してきたところで、現段階としては、実践的にモニターを実施し、ツアー商品として売り出せるよう努めていますが、本町としては、安全性に伴う環境整備や自然保護といった形でバックアップ

**問** 観光客の誘致について、どのような案を持っているか。

**答** 町長 昨年度、地方創生加速化交付金「DMO化事業」にて、おきのえらぶ島観光協会を主体に、島の資源を活用した体験型プログラム開発に取り組み、着地型観光の創出を目指してきたところで、現段階としては、実践的にモニターを実施し、ツアー商品として売り出せるよう努めていますが、本町としては、安全性に伴う環境整備や自然保護といった形でバックアップ



入込客の増加が期待されるえらぶゆりの島空港

**問** 航空機の濃霧等による欠航対策として、航空機誘導システム(計器着陸装置)の導入を要請してはどうか。

**答** 町長 沖永良部島空港利用促進協議会で検討したいと思えます。また、同様の問題は沖永良部だけではなく思われますので、奄美航空路対策協議会でも検討していき

## 本町において障がい児童の保護者への負担軽減対策はどのように行っているか

### 町長／鹿児島県児童発達支援利用者負担軽減対策事業費補助金交付要綱に基づいて行っている



西 文男議員

**問** 児童発達支援事業所へ通所している児童の保護者負担を課税者、非課税者すべての保護者へ全額負担軽減ができないか。

**答** 町長 児童の保護者への負担軽減策については、郡内の市町村の動向、類似町村の動向を確認しながら、財源の確保、適正な自己負担額の設定、今後の利用児童の増加等多くの検討課題があるため助成することが可能か判断したい。

**問** 知名町、心身障害児施設等入所者見舞旅費助成金事業について、どのように行っているか。

**答** 町長 本事業は、心身障害児施設等に入所している、精神又は身体に障害を有する児の保護義務者が当該児を訪問見舞するための旅費を助成することにより、保護義務者の経済的負担の軽減を図ることを目的とし、平成27年1月から実施している。助成金は、年1回の助成で奄美群島外の施設が35,000円、群島内施設が20,000円となっている。

**問** 隣町及び与論町ではどのような心身障害児施設等入所者見舞旅費助成金制度になっているか。

**答** 保健福祉課長 与論町の助成の前身については承知しておりませんが、隣町は3回している。但し、助成の額について実費とうたわれているところもあり、詳細については比較検討して対象者に最も良い方法で助成できないか検討したい。

**問** 隣町及び与論町が行っているように、知名町においても見舞い回数や助成金の増額は考えていないか。

**答** 保健福祉課長 心身障害児施設等入所者見舞旅費助成事業の利用状況について、子育て支援課、学校教育課等と協議をしてよりよい制度設計をしてみたいと思います。

**問** 南栄糖業株式の工場施設は、築何年になるか。

**答** 町長 南栄糖業株式の工場施設の築年数は、奄美興発糖分密糖工場として昭和35年に建設され、現在、築56年が経過しています。全面建て替えは数十億の設備投資が必要の為、不可能な部分毎の更新計画を、緊急度

を勘案しながら更新していく予定です。



南栄糖業

**問** 工場施設建物の耐震調査は行われているか。

**答** 町長 建物の耐震調査については行われていませんが、鹿島の建築事務所と耐震診断について事前協議は行っており、特定既存耐震不適格建築物の指示対象に分類されているため耐震補強工事を検討しています。



余多揚水機場施設



更新されるジュースヒーター

**問** 国営地下ダム工事の進捗はどれくらいか、また、完成予定年度は何年か。

**答** 町長 国営地下ダム事業は、平成28年度までの進捗率が予算ベースで約68%で、地下ダム止水壁工事は、全12工区中6工区が施工済み、パイプラインは全体の約9割が施工済み、その他、揚水機場等の施設は施工完了しており、事業完了年度は平成33年を予定しています。

## 平成29年 第2回定例会で審議された案件

議案番号	件 名	議決結果
報告第3号	繰越明許費繰越計算書について（一般会計）	報 告
報告第4号	知名町水道事業経営戦略の策定について	報 告
承認第1号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第1号） 知名町税条例等の一部を改正する条例	承 認
承認第2号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第2号） 知名町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	承 認
承認第3号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第3号） 平成28年度知名町一般会計補正予算（第6号）	承 認
承認第4号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第4号） 平成28年度知名町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	承 認
承認第5号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第5号） 平成28年度知名町介護保険特別会計補正予算（第4号）	承 認
承認第6号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第6号） 平成28年度知名町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	承 認
承認第7号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第7号） 平成28年度知名町奨学資金特別会計補正予算（第2号）	承 認
承認第8号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第8号） 平成28年度知名町下水道事業特別会計補正予算（第3号）	承 認
承認第9号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第9号） 平成28年度知名町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	承 認
承認第10号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第10号） 平成28年度知名町合併処理浄化槽事業特別会計補正予算（第2号）	承 認
承認第11号	専決処分事項の承認を求めることについて（専決第11号） 平成28年度知名町土地改良事業換地清算特別会計補正予算（第4号）	承 認
議案第30号	平成29年度知名町一般会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第31号	知名町職員定数条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第32号	知名町行政手続等における情報通信の技術に関する条例の制定について	原案可決
議案第33号	物品売買契約の締結について（鷹芥収集車購入）	可 決
同意第2号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて（池沢清良）	同 意
同意第3号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて（牧野幸吉）	同 意
同意第4号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて（中瀬秀治）	同 意
同意第5号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて（三原利昭）	同 意
同意第6号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて（福田則明）	同 意
同意第7号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて（芦村利茂）	同 意
同意第8号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて（東 正亮）	同 意
同意第9号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて（田尻博樹）	同 意
同意第10号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて（元榮章裕）	同 意
同意第11号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて（川内清弘）	同 意
同意第12号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて（先岡秀明）	同 意
同意第13号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて（永吉雄子）	同 意
同意第14号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて（榮 米子）	同 意
同意第15号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて（川畑伸之）	同 意
同意第16号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて（幸山利忠）	同 意
同意第17号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて（林 茂）	同 意
同意第18号	知名町農業委員会委員の任命に付き同意を求めることについて（平井久元）	同 意
決定第3号	議員派遣について	決 定
決定第4号	閉会中の継続調査の件について	決 定

## 所管事務調査報告

- 1 期 日 平成29年5月11日～12日
- 2 場 所 熊本県南阿蘇村・熊本市、佐賀県唐津市

### 1. はじめに

熊本市においては、平成28年4月14日に発生した熊本地震から約1年が経過した現在の復興状況及び、大規模災害発生時の対応や苦慮した事例等、また、唐津市においては、日本三大松原である「虹の松原」を活用した観光振興及び、地域活性化について学び、本町の振興に資するため議会常任委員会合同所管事務調査を行った。

地震発生当時のお話を政策企画課長からお聞きすると、市の職員は3日間家に帰ることはできず、電話は鳴りやまず、震災時のマニュアル等も無く、大変苦慮したとのこと。話の中で特に印象的だったのが、自衛隊が炊き出しを行うことになり安心していても、自衛隊から「炊き出しの準備ができましたが、米はどこにあるのですか?」と言われ、そこで初めて米などの食料は市で準備しなければならない事を知り、食料の確保でも大変苦慮したとのこと。

熊本市において地震発生時は、市民、行政ともに混乱状態にあったため、事前に策定していた防災計画を十分に履行することができず、安否確認、食料確保、避難所の運営等に支障があったとのこと。その反省点から、避難所マニュアルの作成、避難所運営委員会の設置、運営まで見据えた避難訓練の実施、民間企業との連携協定の強化などに取り組みされたとのこと。また、行政の対応として、各部署で災害時に対応する項目を細分化し、担当を決めておくことも大事とのことであった。本町においても、平常時から災害時を見据えた計画策定、避難訓練の実施、民間企業との連携協定などを行うことが必要であると認識した。

### ○ 佐賀県 唐津市

#### 1. 唐津市の概要について

唐津市は面積487.54km<sup>2</sup>、人口124,431人、高齢化率29.9%で、古来は大陸との交流が盛んに行われ、朝鮮半島や中国大陸からの様々な文化が取り入れられ、唐津地方から全国へ伝わったと考えられている。市内には数多くの遺跡があり、歴史を知る上での重要な文化財が多く出土しており、考古学的に重要な地域となっている。

また、「唐津くんちの曳山行事」を始めとする様々な伝統的な地域文化が育ち、優れた観光地としても発展してきた。



### ○ 熊本県 阿蘇郡 南阿蘇村

熊本県においては、昨年4月に発生した熊本地震から1年が経過するが、阿蘇付近の道路では現在も復旧工事や迂回路工事をしている様子が随所に見られた。

南阿蘇村では、上平川字出身で南阿蘇村にて米、トマト、いちご等を生産している山内吉仁氏とお会いした。この南阿蘇村は、報道等でご承知のとおり阿蘇大橋が大規模な山崩れにより崩落し、東海大学阿蘇キャンパスの学生寮が倒壊し生徒3名が犠牲になるなど、最も被害が大きかった場所に当たる。震災から1年が過ぎた現在も山肌はそのままでの状態で、橋の復旧にはまだまだ時間を要する印象を受けた。



【阿蘇大橋崩落現場】



【山内氏による被災状況の説明】

### ○ 熊本県 熊本市



#### 1. 熊本地震の概要について

熊本地震は、平成28年4月14日に発生し、14日および、16日に震度7を観測している。一連の地震で震度7が2回発生した事例は観測史上初である。また、震度6弱以上の揺れが7回発生した事についても観測史上初となり、熊本地震の異例さが見て取れる。

被害については、死者69名（直接死：6名、関連死：63名）、住家被害125,443件（全壊5,717件、大規模半壊8,895件、半壊37,703件、一部損壊73,128件）、断水約326,000世帯、停電68,600戸、ガス停止105,000戸となっており、被害額は1兆6,362億円（試算）に及んだ。

## 3. 観光客を集めるために

唐津市は、「虹の松原」「唐津くちの曳山行事」「唐津焼」「呼子のイカ」など数多くの観光資源があるが、やはり積極的にPRをしなければ観光客は来ないとのこと。

そこで、市では「地域の稼ぐ力」を引き出すための取り組みとして、「唐津版DMO」を実践しているとのことでした。内容としては、平成26年度に行政、商工会議所、漁協、各種旅館組合、交通業者、JAなど多彩なメンバーで構成する「からつ観光協議会」を結成し、からつ観光協議会が中心となり、若手グループによる「観光未来塾チーム」、専務クラスによる「プロジェクトチーム」、キーパーソンによる「キーパーソンチーム」でボトムアップ方式により、観光未来塾チームから挙げられたアイディアに対し、プロジェクトチームで戦略策定を行い、キーパーソンチームで戦略決定、方針示唆等を行っているとのこと。観光資源が豊富な唐津市においても、それに甘んじることなく「唐津版DMO」を実践し、積極的に観光客を呼び込む姿勢に感銘を受けた。

## ○むすび

今回の合同所管事務調査は、熊本地震から1年が過ぎてなお震災の爪痕が残る南阿蘇村、熊本市、観光先進地である佐賀県唐津市をそれぞれ視察した。

南阿蘇村では、人間の力では防げない自然の脅威を改めて感じ、被災した方々が一日でも早く復興することを願うばかりであった。熊本市では、災害が発生する前にどれだけきめ細やかな対応マニュアルが作成できるかが重要であると感じ、日頃から、より実践的な防災訓練をしなくてはいけないと思った。唐津市では、観光資源を活かすために様々な活動を行っており、参考にすべき点が多く大変有意義な視察研修であった。これらの研修をとし、今後の町づくりに向けての議員活動や委員会活動の参考としていきたい。

## 2. 「虹の松原」を活用した取り組みについて

「虹の松原」は国有林であり、216haの松のほとんどがクロマツである。昭和30年に特別名勝として指定され、防風、防砂、防潮、森林浴、環境学習の場、観光資源など市にとって重要な位置づけがなされている。松林は雑木・雑草等を排除しなければ他の広葉樹に遷移し、また、松くい虫の蔓延化に繋がるため管理が重要になるが、国及び地域の自治体だけの取り組みでは、管理が困難であり広大な松林をどのように管理していくかが課題であった。

そこで、国、県、市町村、市民団体、民間企業、ボランティア等の主体別に整理し、それぞれの役割分担を行った。

### 【国の役割】

- ・松原の管理者として、保安林機能の適切な維持・保全を行う。
- ・再生・保全活動者へ活動を促進するための指導と助言を行う。
- ・モニタリング調査の実施。

### 【地方公共団体の役割】

- ・国が実施する松くい虫の防除対策等の維持・保全活動を行う。
- ・森林管理署の指導、協力のもと、広葉樹の伐採やマツ過密林の除伐を行う。
- ・佐賀県によるモニタリング調査の実施。

### 【民間企業・地域住民等の役割】

- ・「虹の松原保護対策協議会」を中心として、保全実行計画書に基づき活動を実施。
- ・松林の一定区間を養子にみたり、市民が里親となって養子（アダプト）の清掃・美化活動等を行っている。（アダプトプログラム：213団体、6,999人が登録）

松くい虫の防除については、佐賀県と佐賀森林管理署の共同防除で、昭和48年から毎年6月頃に空中散布を実施している。被害は、台風の影響を受け平成3年度の2,334本の被害がピークとなっており、近年は200本台で推移している。

## 奄美群島市町村議会議員大会（与論町開催）

5月18日、19日の2日間、第60回奄美群島市町村議会議員大会が与論町で開催され、12市町村の議会議員や市町村長、県議会議員が出席。本町からの提案で議長会提出となった「奄美群島振興交付金の充実・拡充について」の議

事を含む各地区から提出された次の5議題が採択された。その実現のため関係機関等へ要請していくこととされました。



### 《採択された5議題》

- 一、沖永良部・与論地区における無電柱化事業の早期実現について
- 二、主要道路（伊仙く天城線・伊仙く亀津く徳之島空港線・花徳く浅間線・松原く轟木線）道路改良事業について
- 三、主要地方道名瀬瀬戸内線（名柄く久慈間）トンネルの早期実現について
- 四、名瀬測候所の地方気象台への格上げについて
- 五、国道58号線（龍郷町役場前から浜千鳥館前）の拡幅改良について

## 3月

- 13日 第1回議会定例会 閉会
- 14日 卒業式(中学校)
- 16日 パワーリフティング競技連絡調整会議
- 17日 平成28年度沖永良部警察署送別会
- 18日 知名保育所卒園式
- 19日 下平川保育所 修了・閉園式・卒園式
- 認定ことも園すまいる落成記念式典
- 21日 認定ことも園すまいる落成記念式賀会
- 例月監査
- 平成28年度廃棄物減量等推進審議会及びおきえら食品リサイクルセンター運営委員会各組合議会(バス・衛生・広域)
- 22日 知名幼稚園 卒園式・閉園式
- 知名町学校管理職等送別会
- 23日 小学校卒業式
- 24日 平成28年度沖永良部島鳥獣被害防止対策連絡協議会(和泊町)
- 25日 下平川幼稚園 修了・閉園式
- 26日 芭蕉布工房長谷川落成祝賀会
- 28日 知名町コミュニティづくり推進協議会総会
- 平成29年第1回知名町交通安全対策町民会議
- 29日 土地改良事業関係機関合同送別会

## 4月

- 1日 認定ことも園すまいる入園式
- 入園式
- 3日 認定ことも園すまいる入園式「開園式」
- 6日 小学校入学式
- 中学校入学式
- 春の交通安全運動街頭パレード
- 7日 鹿耳島県立沖永良部高等学校入学式
- 鹿耳島県立沖永良部高等学校入学式
- 転入教職員宣誓式
- 春の全国交通安全運動街頭指導
- 8日 例月監査
- 10日 沖永良部農業改良普及協議会 監査
- 12日 大島郡町村議会議長会 議長・事務局長合同会
- 14日 転入教職員歓迎会
- 17日 所管事務調査打合せ会
- 国営沖永良部土地改良事業促進協議会計監査

## 4月

- 18日 星城大サテライトカレッジ沖永良部開校式
- 20日 農業農村整備事業関係機関合同歓迎会
- 22日 公民館講座開講式
- 23日 海のカーニバル2017
- 25日 平成29年度 県政説明会
- 明治維新150周年記念プロジェクト
- 市町村長等連絡会
- 26日 県庁在来会連絡会との合同懇親会
- 奄美群島振興開発総合調査説明会・意見交換会
- 27日 第46回知名町老人クラブ連合会定期総会
- 29日 第18回知名町植樹祭及び沖泊海浜公園清掃ボランティア
- 小米字防災センター改修工事完了・祝賀会

## 5月

- 2日 離島議長徳之島行政視察
- 3日 離島議長徳之島行政視察
- 6日 宇都隆史参議院議員国政報告・懇談会
- 8日 知名町体育協会総会
- 9日 離島議長臨時総会・研修会
- 10日 鹿兒島県町村議会議長会臨時総会
- 市町村議会議員研修会
- 11日 所管事務調査
- 12日 一般社団法人おきのえらぶ島観光協会総会
- 14日 知名町婦人連絡協議会総会
- 16日 例月監査
- 国営沖永良部土地改良事業促進協議会 通常総会
- 18日 第6回奄美群島市町村議会議員大会
- 19日 与論町現地視察
- 20日 五月の祭典
- 21日 知名町商工会通常総会
- 24日 歌つて笑つて癒されてコンサート
- 25日 知名町消防援会総会
- 沖永良部地区農業改良普及事業協議会 通常総会
- 28日 第3回知名町収穫祭
- 31日 市町村長・議会議長合同会

## 6月

- 6日 小惑星「chimaeyo」命名記念式典・記念祝賀会
- 7日 知名町農村婦人センター運営協議会
- 8日 議会運営委員会
- 沖永良部さとうきび生産対策本部理事會
- 10日 沖永良部糖業振興対策協議会
- 沖永良部高校文芸祭
- 田中和夫氏叙勲祝賀会
- 13日 第2回議会定例会初日

### 編集後記

盛夏の候、町民の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。梅雨も明け、いよいよ夏本番になりますが、農家の皆様におかれましては、今年は空梅雨で農作物への影響が懸念されるところだと思います。本町の町内一円における畑かん設備の一日も早い整備が待たれるところで。

さて、6月13日から15日までの3日間開催された平成29年第2回議会定例会では8名の議員が一般質問に登壇し、農業や観光に関する問題、老朽化した建造物の問題、子育てを含む教育・福祉関連の問題等町政全般に対して活発な質疑・応答がなされました。また、定例会を重ねるたびに議会傍聴者も増え、私たち議員の声にも力が入ります。これからも、町民の声や町政に反映できる議会運営をめざし頑張つて参りますので、町民の皆様への議会活動へのご理解とご協力をよろしく願います。体調には十分お気を付けてお過ごしください。

議会広報委員 根金 昭一郎